

平成25年度ナノバイオ科学成果報告会

日時：5月30日（木）14：00～

場所：共通教育A棟205号室

第一部 成果発表会

14：00～14：15	平成24年度会計報告、平成25年度計画の報告など	
14：15～14：45	第Ⅰ分野報告（河岸担当）	
14:15～14:30	丑丸敬史	「キノコ由来のアンチエイジング化合物のスクリーニング」
14:30～14:45	間瀬暢之	「植物細胞中における香気成分生成過程の可視化を指向した量子ドットプローブ合成」
14：45～15：15	第Ⅱ分野報告（朴担当）	
14:45～15:00	岩田太	「ナノピペットを用いた微量滴下技術の開発」
15:00～15:15	董金華	「機能性ナノ粒子の創出及びインフルエンザウイルス検出法の開発」
15：15～15：25	Coffee Break	
15：25～15：55	第Ⅲ分野報告（朴担当）	
15:25～15:40	加藤竜也	「カイコを用いたインフルエンザウイルス由来ヘマグルチニンの発現」
15:40～15:55	Deo Vipin Kumar	「Packaging nanomaterial Virus like Particles (VLPs) displaying short chain fragments (scFvs) with fluorescent dye」
15：55～16：25	第Ⅳ分野報告（小林担当）	
15:55～16:10	山中正道	「両親媒性分子の自己集合による超分子ヒドロゲルの形成」
16:10～16:25	三井正明	「単一分子分光による有機ナノ発光材料の光物理と光安定性の解明」
16：25～16：35	Coffee Break	

第二部 招待講演

16：35～17：15



「ナノテクノロジーとバイオデバイス」

民谷 栄一 教授

大阪大学大学院 工学研究科 精密科学・応用物理学専攻
応用物理学教室 ナノバイオ領域

ナノ構造の特性を利用したバイオデバイスの研究動向について演者らの研究を中心に紹介する。特に、局在プラズモンナノ金属、ナノカーボン電極を用いたナノバイオセンサーや表面増強ラマン分光による細胞イメージングなどナノテクノロジーのバイオテクノロジー分野への展開について紹介する。

18：00頃

情報交換会（交流会）：静岡市内（希望者）

主催：静岡大学グリーン科学技術研究所

高齢化・福祉社会を支えるナノバイオナノテクノロジー研究推進プロジェクト

問い合わせ：ナノバイオプロジェクト推進室

朴龍洙

acypark@ipc.shizuoka.ac.jp

054-238-4887

千切麻里衣

dmchigi@ipc.shizuoka.ac.jp

054-238-4846